わさびの花

発行所
社会福祉法人・喜楽会
〒252-0336
相模原市南区当麻490番地1
電話（042）778-7211

創立三十五周年記念

昭和五十三年、法人創立の準備に取りかかり、あさみぞホームの設立準備委員会を立ち上げ創立者である、初代理事長吉川巳代一を中心として計画を進めました。

当初、私も老人ホームに対しての心構えをもっと勉強しなければいけないと思い、知人である町田市内にあります、特別養護老人ホーム「合掌園」の施設長（当時）で今は亡き故市原秀翁先生に相談相手になっていただきました。

そして相模原市役所では当時総務課長の小星さんを中心として、市役所の皆様方には多大なるご支援とご協力をいただきました。

市内には当時県立相模原養護老人ホームがあり、現在の同胞援護会会長加茂坂先生にもご協力をいただき、実習期間中大変お世話になり、私を始めとして職員研修に力を注いで下さいました。

県内においては、平塚特別養護老人ホームの理事長（当時）・故鳥海先生、中心荘の理事長（当時）・故浦野先生、長寿会の理事長（当時）・故加藤先生等、福祉の神髄をよく知り尽くした人達にご指導とご支援をいただき、今想い出しますともっと指導をして欲しい位の方々でした。心より感謝致しております。

立派な先陣の皆様方にめぐり逢えましたことは、施設として幸せと思っております。

これからも福祉の精神を伝え行くためにも、職員の研修をはじめとして、その精神を社会に向け日々勉強をして行きたいと思っております。

ここに多くの人達に深々お礼を申し上げます。

合掌

御下賜金拝受に対して感謝

長年の社会福祉に貢献している優秀民間施設として、拝受致しました。

これも偏に多くの関係者の皆様方のご支援、ご協力があっての御下賜金と思います。ここに深く心から感謝申し上げます。

特にご利用者の皆様方、ご家族の皆様方にご満足いただける、行きとどいたサービスが果たされているかどうか、心配を致しております。

役職員が一丸となり、良質な福祉サービスの提供が出来るよう、日々努力を重ねております。

しかしながら昨今、非常に人材育成が難しい時代となりました。当法人と致しましても国内外の研修参加を試み、資質向上に向けて日夜努力をいたしております。

この度の拝受は職員の励みとなり、福祉への志しも高くなって来ております。

そして福祉の原点を忘れずに、多くの人達へ支援が出来ることと、皆様から愛される施設へと発展していきたいと思います。

これから益々社会貢献が出来る一員として、今後も社会福祉の使命を果たすべく一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

理事長　吉川　友子

評議員あいさつ

評議員　中島　義博

この度、当法人の評議員に就任致しました中島と申します。

このような大役を仰せつかるには、まだまだ未熟であると感じておりますが、自らの成長の為に、そして、当法人の更なる発展の為に、運営に携わらせていただきたいと考えております。

さて、私は平成 18 年４月に介護職員として当法人に入職し、主にショートステイの担当として勤務して参りました。南区の高齢者福祉に携わり、９年以上が経過しましたが、その間の周辺環境の変化を実感しているところです。

平成 24 年度より、南区へ新規の特別養護老人ホーム開設が相次ぎ、現在までに合計で 649 床の整備がされました。こうした整備は、団塊の世代が 75 歳となる 2025 年問題や、その後も続く超高齢社会への対応策として行われたものですが、これを受けて、当法人のショートステイの利用率は、平成 23 年度の 96.5%から、6.8%低下し、平成 26 年度は 89.7%となりました。利用率の低下は、デイサービス等のサービスにおいても同様の傾向が見られており、収入に直結する利用率をいかに向上させていくかが大きな課題となっております。

一方、基盤整備の拡充によって、ご利用者やご家族にとっては選択肢が増え、サービスの違いにより施設を比較し、利用出来る状況となっています。こうした状況の中で、利用率を向上させる為には、ご利用者やご家族のニーズを的確に把握し、多くの方に信頼され、選ばれる施設づくりを行っていく必要があると考えております。

また、今年の４月には、介護報酬の改定があり、基本報酬については、軒並み大幅なマイナス改定となりました。減収分を各加算で補填する必要がありますが、加算の適用を受ける為には、国の求める役割を果たさなければなりません。国が推進する「地域包括ケアシステム」の構築に沿った運営体制を整備する事も急務となっております。

今回の改定については、経営の視点がより一層求められており、利益を残せない法人が自然淘汰される可能性があるという意見も聞かれております。

介護を取り巻く環境は、財政面や人材確保の問題も含めて、年々その厳しさを増しております。そうした中で、国の方針や地域特性を考慮しながら、安定した法人運営を目指していかなければなりません。

様々な困難も予想されますが、法人として、更に質の高いサービスを提供出来るように、微力ながらも最善を尽くしていく所存です。

今後とも、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

New

新規事業紹介

小規模多機能型居宅介護事業所開所にあたり

所長　田代　真士

平成27年8月8日準備期間約一年を費やした、小規模多機能型居宅介護「あさみぞハウス」が開設致しました。この小規模多機能型居宅介護というあまり聞きなれないサービスをまずは簡単に記させていただきます。小規模多機能型居宅介護は3つの言葉でできています。「小規模」で「多機能」な「居宅介護」です。あさみぞハウスはご利用者登録人数が最大24名となっており小規模の施設です。その施設の中では登録された24名にデイサービス及びショートステイを提供します。更に当日、デイ・ショートのご利用がないご利用者には訪問介護のサービスを提供致します。これら3つのサービスをご利用者・ご家族と話し合い、組み合わせて利用することでご希望に沿ったサービス提供が可能となり24時間365日ご自宅で安心して過ごすことができるサービスとなります。

このサービスはご利用者にとって利用価値の高いものです。一人でも多くのご利用者にあさみぞハウスを選んで頂けるよう、職員一同サービス提供に磨きをかけ、まごころのこもった介護を行う所存です。宜しくお願い致します。

あさみぞハウス
〒252-0336　相模原市南区当麻 893-8
TEL.042-711-9435　担当：田代

あさみぞホーム

十二天神社例祭

お花見

茶道クラブ

ライフサポート事業

ライフサポート

担当の中根です。様々な理由でお困りの方のお手伝いをさせていただきたいと思っています!!

あさみぞ居宅介護支援事業所

居宅介護支援

担当の阿部です。開設から2年が経ちました。今後もより良い支援ができるように頑張ります!!

あさみぞデイケアセンター

合唱（ショートステイ）

レクリエーションの時間にセンター屋上に上がり、歌を歌いました

クリスマス会（合同行事）

デイサービス職員はピアノ伴奏にあわせたコーラスを披露

野外リハビリ（デイサービス）

この日は満開の桜の下で歩行訓練を行いました

ショートステイ職員による安来節に会場からは笑い声が!!

よもぎの里 愛の丘

書道クラブ＆ちぎり絵

そば打ち

ひな祭り

七夕

私たちはこうして 2015 年を迎えました。

昭和 55 年	3月	社会福祉法人 喜楽会設立許可
	4月	初代 吉川巳代一理事長就任 ※町田市出身　事業家
	5月	特別養護老人ホーム あさみぞホーム事業開始
昭和 56 年	4月	在宅ねたきり老人一時入所事業開始 （神奈川県より受託）
昭和 57 年	4月	高齢者相談事業開始（神奈川県より受託）
昭和 59 年	4月	在宅ねたきり老人入浴サービス事業開始 （相模原市より受託）
昭和 60 年	9月	吉川友子理事長就任
昭和 61 年	4月	在宅ねたきり老人一時入所事業増床
	7月	ミニデイサービス事業開始
昭和 62 年	9月	あさみぞケアセンター創設工事開始
昭和 63 年	4月	あさみぞケアセンター事業開始
	7月	在宅老人緊急通報システム及び電話サービス事業開始
	8月	全館スプリンクラー設置整備事業開始

あさみぞホーム建設趣意書

施工前

あさみぞホーム

あさみぞホーム空撮

創立 10 周年

あさみぞデイケアセンター建築パース

あさみぞデイケアセンター

あさみぞホーム・デイケアセンター空撮

よもぎの里　愛の丘建築パース

よもぎの里　愛の丘

沿革

社会福祉法人 喜楽会の 35 年史

平成元年	4月	あさみぞケアセンター国基準運営開始
平成2年	6月	創立 10 周年記念式典
	10 月	在宅ふれあい給食サービス事業開始（相模原市より受託）
平成 11 年	10 月	居宅介護支援事業開始
平成 12 年	4月	あさみぞデイケアセンター開始・ショートステイ増床（18 床）
平成 14 年	4月	あじさい住宅生活援助員派遣事業開始（相模原市より受託）
平成 22 年	5月	創立 30 周年記念式典 よもぎの里 愛の丘 事業開始
平成 27 年	8月	小規模多機能型居宅介護事業 あさみぞハウス開始

永年勤続者（平成 27 年 4 月 1 日現在）

●あさみぞホーム
舟山　佳代（7年）
血液型：B
趣　味：DVD 鑑賞、料理

●あさみぞホーム
舟根美穂子（6年）
血液型：B
趣　味：園芸、読書、映画鑑賞

●あさみぞホーム
駒宮なち子（7年）
血液型：A
趣　味：登山、ガーデニング

●あさみぞホーム
増山由多加（5年）
血液型：A
趣　味：サーフィン、スノーボード

●あさみぞホーム
浅海　道子（10 年）
血液型：A
趣　味：生花

●あさみぞホーム
原野　美穂（9年）
血液型：AB
趣　味：テニス

●あさみぞホーム
野村　充子（8年）
血液型：O
趣　味：映画鑑賞

資格取得者

介護福祉士

柏木　直幸
■血液型：A
■趣　味：ゴルフ

●あさみぞホーム

この度、無事介護福祉士の資格が取れてホッとしております。介護福祉士の資格を通過点としてこれからも気を抜かず、日々精進を心掛けて行きたいと思います。

介護福祉士

森　恵
■血液型：O
■趣　味：ショッピング

●あさみぞデイケアセンター

この度、介護福祉士の試験に合格する事が出来ました。これも周りの方々のおかげと思っております。これからもご利用者がたくさん笑顔になれるようなお手伝いが出来たらと思っております。

介護福祉士

井上　真紀
■血液型：A
■趣　味：子供の試合観戦

●よもぎの里　愛の丘

私は介護の仕事を通して入居者の方々から多くの事を学ばせていただいています。私達の仕事は日々繰り返しになりますが、入居者の方は生活の場となります。入居者の方々が生活しやすい環境したりをサポートさせていただきながら、私自身も日々努力し入居者の方に寄り添いながら楽しく過ごしていけるようにしたいと思います。

介護福祉士

北浦　健司
■血液型：A
■趣　味：音楽鑑賞

●よもぎの里　愛の丘

早いもので介護という仕事に就いて3年半が経ちました。介護は「これで良い」という答えがなく、日々、学び、介護の技術も知識も深めて行けるよう努め、入居者様の安心・安全・安楽をサポートしていけるよう、頑張りたいと思っています。

介護福祉士

石井　克典

●よもぎの里　愛の丘

この施設で初めて介護職に携わり、働き始めの頃は資格を取れるまで続くか不安ではありましたが、今年資格取得に必要な期間を越え、試験を受け無事取得することができました。

新入職員（平成 27 年 4 月 1 日付）

松野　温子
■血液型：B
■趣　味：読書

●あさみぞデイケアセンター

今の目標は利用者さんやその家族の方だけでなく職員の方々ともコミュニケーションを取れるようになることと、仕事を覚えてミスをせずに素早くこなせるようになることです。宜しくお願い致します。

●あさみぞデイケアセンター
中島　義博（8年）
血液型：A
趣　味：ジョギング

●あさみぞデイケアセンター
森　　恵（8年）
血液型：O
趣　味：ショッピング

●あさみぞデイケアセンター
岩下めぐみ（5年）
血液型：A
趣　味：スポーツ観戦

●あさみぞデイケアセンター
早川くるみ（5年）
血液型：A
趣　味：ビデオ鑑賞、ツーリング

●あさみぞデイケアセンター
市川　浩正（5年）
血液型：O
趣　味：禁煙

●あさみぞデイケアセンター
高橋　俊子（5年）
血液型：O
趣　味：ゴルフ、テニス

●あさみぞデイケアセンター
石川　頌子（5年）
血液型：A
趣　味：読書、ドライブ

●よもぎの里　愛の丘
塩島　陽子（5年）
血液型：A
趣　味：読書

●よもぎの里　愛の丘
納本　勝江（5年）
血液型：O
趣　味：民謡、カラオケ

●あさみぞホーム
池谷　芳子（5年）
血液型：B
趣　味：パッチワーク

●あさみぞホーム
八木　幹夫（5年）
血液型：O
趣　味：野菜作り、登山

●あさみぞホーム
中根　優太（5年）
血液型：O
趣　味：野球、釣り

●よもぎの里　愛の丘
牛木みゆき（7年）
血液型：AB
趣　味：山野草鑑賞、コーラス

●よもぎの里　愛の丘
松橋　博樹（6年）
血液型：B
趣　味：乗り鉄、撮り鉄

●よもぎの里　愛の丘
佐藤たま子（6年）
血液型：A
趣　味：ガーデニング

●よもぎの里　愛の丘
石川　　純（5年）
血液型：A
趣　味：ドライブ、温泉、料理

●よもぎの里　愛の丘
高柿　和広（5年）
血液型：B
趣　味：映画鑑賞

●あさみぞハウス
田代　真士（5年）
血液型：A
趣　味：旅行（歴史的な所へ行く）

敬老の日 祝賀会・長寿の祝 おめでとうございます

例年、敬老の日の2日前にあさみぞデイケアセンターで、敬老の日当日にはよもぎの里愛の丘で、敬老会を開催しています。

ご利用者・ご入居者の皆様とご家族、来賓の方々と職員で長寿のお祝いをさせていただいています。

●よもぎの里　愛の丘	
長寿の祝（100 歳以上）	2名
卒寿の祝（90 歳）	5名
米寿の祝（88 歳）	8名
喜寿の祝（77 歳）	2名
●あさみぞホーム	
長寿の祝（100 歳以上）	1名
卒寿の祝（90 歳）	3名
米寿の祝（88 歳）	2名
●あさみぞデイケアセンター（ショートステイ）	
長寿の祝（100 歳以上）	2名
卒寿の祝（90 歳）	4名
●あさみぞデイケアセンター（デイサービス）	
卒寿の祝（90 歳）	2名
米寿の祝（88 歳）	2名
喜寿の祝（77 歳）	2名

※平成 26 年度敬老祝賀対象者数

物故者慰霊祭

例年、3月下旬に合同物故者慰霊祭を行っています。

入居者や利用者の皆さん、故人のご家族など、多くの方にご参加いただき、物故者の供養をさせていただいています。

読経については、本弘寺のご住職にお願いしております。

外部表彰　介護技術発表

平成 27 年 7 月 8 日にパシフィコ横浜において、第 14 回神奈川高齢者福祉研究大会が行われ、介護技術発表の移動介護部門にあさみぞホームが、口腔ケア部門によもぎの里 愛の丘が発表し、奨励賞を頂きました。

奨 励 賞

「口腔ケア」部門

社会福祉法人喜楽会
よもぎの里　愛の丘
高神 和広 様
井上 真紀 様　杉山 明美 様

貴会は第14回かながわ高齢者福祉研究大会介護技術発表において本会会員および高齢者福祉に貢献されること誠に多大でありました
ここに今後一層の活躍を祈念し表彰します

平成27年7月8日

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 会長　栗田 [illegible]
第14回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
委員長　西山 宏二郎

平成 26 年度　法人研修会　実績

● 9/4　9/11	機械浴説明会	アビリティーズ	三橋氏
● 9/20	食事介助について	渡邊忠洋先生	
● 10/31	オムツ講習	花王	大沼氏
● 1/29	高齢者の嚥下の基本	ミナミ歯科	神谷先生

入所希望者様、ご家族様などへ

平成 27 年４月から特養への入所が原則要介護３以上の方に限定されます

介護保険制度の改正により、平成 27 年４月１日以降の特別養護老人ホームへの入所が原則要介護３以上の方に限定されます。

質問
要介護１・２の人は入所できないの？

答え
要介護１・２の人でも、次のいずれかの要件に該当する場合は入所できることがあります。

- 認知症で、生活に支障があるような症状などが頻繁に見られる場合
- 知的障害などで、生活に支障があるような症状などが頻繁に見られる場合
- 家族等による深刻な虐待が疑われるなどの場合
- ひとり暮らしなど家族等による支援が期待できず、地域での介護サービスなど供給が不十分な場合

※上記については、分かりやすさを考慮して記載しております。

質問
要介護３以上で入所した人が要介護１・２になった場合は退所するの？

答え
平成 27 年４月１日以降に入所した要介護３以上の方が、その後、要介護１・２になった場合、上にある４つの要件のどれかがあれば、入所を続けることができます。もし、上にある４つの要件のいずれかに該当しなければ退所することになります。退所に当たって、施設は入所されている方やそのご家族様を支援しますので、ご安心下さい。

※平成 27 年３月 31 日以前に入所した方が要介護１・２になった場合、上にある４つの要件いずれかに該当しなくても入所を続けることができます。

質問
特養への入所が原則要介護３以上の人に限定されたことで、入所しづらくなったのかな？

答え
今回の改正の要点は入所される方の要件を新たに設けたことなので、今までどおり特養への入所が必要な方から入所してもらうことは変わりありません。

発　行：相模原市高齢政策課

平成 27 年度

介護保険制度改正のお知らせ

平成 27 年 8 月から

一定以上の所得のある人の負担割合が２割になります

一定以上の所得のある 65 歳以上の人が介護サービスを利用したときは、利用者負担が１割から２割になります。（65 歳以下の人は１割です。）

要支援・要介護認定を受けている人には、７月ごろに本人負担割合（１割か２割）を記載した「負担割合証」を送付します。

市民税課税の 65 歳以上の人
- 本人の合計所得金額が 160 万円以上
  - 下記以外の場合 → ２割負担
  - 同一世帯の 65 歳以上の人の 年金収入 ＋ その他の合計所得金額 ＜ 単身：280 万円／２人以上：346 万円（合計所得金額－年金所得） → １割負担
- 本人の合計所得金額が 160 万円未満 → １割負担

生活保護受給者、市民税非課税の 65 歳以上の人 → １割負担

○２割負担になっても、高額介護サービス費の支給による負担上限があるため、全ての負担が２倍になるわけではありません。

平成 27 年 8 月から

介護保険施設やショートステイを利用する際の負担限度額認定（所得が低い人の食費・居住費の負担軽減）の適用要件が変わります

平成 27 年 7 月までの適用要件	平成 27 年 8 月までの適用要件		
所得要件 世帯全員が市民税非課税	→	所得要件 •世帯全員が市民税非課税 •別世帯に配偶者がいる場合は、別世帯の配偶者も市民税非課税	＋ 資産要件 •預金金額等が単身で 1,000 万円、夫婦で 2,000 万円以下

○負担軽減を受けるためには、申請が必要です。現在、負担軽減を受けている人には、5月中旬ごろ、更新の案内を送付します。

平成 27 年 8 月から

特別養護老人ホーム、ショートステイの多床室の居住費が変わります

１日当たり：370 円 → １日当たり：840 円

ただし、負担限度額認定が適用される場合は、負担が軽減されます。

発行：平成 27 年 5 月 1 日　発行者：相模原市 介護保険課

寄付（敬称略）

●よもぎの里　愛の丘●

石渡美津代
五十子紘一郎
久保田初子
杉﨑　勝江
中島　勝代
鈴木スミエ
岩村　昭夫・河野百合子
渡辺　順一
松木　　實
松木千枝子
山岸由治郎
竹田　敏之
竹田　　哲
萩原　昭平
栃掘　幸子
宮寺　良子
相模原老人ホーム　シルバー大野台
㈱セん・カネコ　代表取締役　金子仙太郎
中央消防機器㈱　代表取締役　川口　浩一
㈱東京綜合造園　代表取締役　青柳　義昭
㈱光建構造設計事務所　代表取締役　朝見　清
東洋リネンサプライ㈱
㈱トーエル

●あさみぞホーム・あさみぞデイケアセンター●

岡元　静子
糸田　玉恵
小畑　昭良
清水　義文
栃掘　幸子
髙橋　　孜
八木橋　昭
丹頂会
古山自治会
紅の会　白井　征子
（福）愛川舜寿会　ミノワホーム　施設長　馬場恵美子
（福）久寿会　施設長　萩原　秀男
（福）愛泉会　リバーサイド田名ホーム　施設長　中野　紀夫
モービルオート㈱　代表取締役社長　新倉　芳郎
㈱ローゼンカンキョウ　代表取締役　塩谷るみ子
井上酒店

財産目録

平成 27 年 3 月 31 日現在

社会福祉法人　喜楽会　（単位：円）

資産・負債の内訳	
流動資産	245,031,904
固定資産	
基本財産	1,801,782,223
その他固定資産	82,895,559
資産合計	2,129,709,686
負債の部	
流動負債	118,505,052
固定負債	1,085,367,400
負債合計	1,203,872,452
差引純資産	**925,837,234**

貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在

社会福祉法人　喜楽会　（単位：円）

資産の部	
流動資産	245,031,904
固定資産	1,884,677,782
基本財産	1,801,782,223
その他固定資産	82,895,559
資産合計	2,129,709,686
負債の部	
流動負債	118,505,052
固定負債	1,085,367,400
負債の部合計	1,203,872,452
差引純資産	925,837,234
負債及び純資産の部合計	2,129,709,686

資産収支計算書

（自）平成 26 年 4 月 1 日　（至）平成 27 年 3 月 31 日現在

社会福祉法人　喜楽会　（単位：円）

勘定科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	事業活動収入	818,911,380	812,350,539	6,560,841
	支出	事業活動支出	724,082,380	722,030,035	2,052,345
	事業活動資金収支差額		94,829,000	90,320,504	4,508,496
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入	9,822,000	9,822,400	△ 400
	支出	施設整備等支出	73,870,000	73,789,020	80,980
	施設整備等資金収支差額		△ 64,048,000	△ 63,966,620	△ 81,380
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入	37,000	1,002,450	△ 965,450
	支出	その他の活動支出	13,408,000	13,441,250	△ 33,250
	その他の活動資金収支差額		△ 13,371,000	△ 12,438,800	△ 932,200
当期資金収支差額合計			17,410,000	13,915,084	3,494,916
前期末支払資金残高			170,349,768	170,349,768	0
当期末支払資金残高			187,759,768	184,264,852	3,494,916

ネパール大地震

ネパールと隣国被災者の方々へ
心からお悔やみを申し上げます。

4月25日にネパールを震源としたマグニチュード7.8の大地震があり、ネパールとその周辺で大きな被害が発生しました。

よもぎの里 愛の丘にも、ネパールやチベットから来たケアワーカーがおり、ご家族が被災されました。彼女達の家も倒壊するなど不安を抱えながらの日々を過ごしております。

当法人では全施設で５月、６月に緊急募金を行いました。職員はもちろん、ご利用者様のご家族様にもご協力を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

ご報告
寄付贈呈　NPO チベット教育福祉基金

編集後記

社会福祉法人喜楽会もお陰様で35周年を迎えることができました。

法人設立と同時に創設された、特別養護老人ホーム「あさみぞホーム」は、介護保険制度導入以前は、措置制度下で運営されておりました。当時のご利用者は元気に動ける方も多かった為、東京ディズニーランドへの遠足や伊豆への一泊旅行等、躍動的なレクリエーションに取り組め、沢山の楽しい思い出を作ることが出来ました。

平成12年の介護保険制度の導入後より徐々に、胃ろうやバルーン等の医療行為が必要な重度のご利用者が増え始め、現在、施設内はほぼ老人病院の様な状況となっています。そうした中でも、職員はご利用者に安心して過ごしていただける様に、医療行為に関する勉強に勤しんだり、意思疎通が困難な方にも、生きる喜びを感じて貰える様に日々努力しています。こうした職員の姿勢は、施設にとっての誇りであり、財産であると考えています。

平成22年に開設した特別養護老人ホーム「よもぎの里愛の丘」には、認知症の方用のユニットの他に、聴覚・視覚障害者用のユニットがあり、そこでは障害のある方に対するケアの質を向上させる為に、点字や手話を積極的に学んでいる職員がおります。よもぎの里愛の丘についても、今後、こうした職員の努力が実り、大きな飛躍を迎えることを期待しています。

この先、法人設立40周年、50周年を迎えた時に、そこに職員と法人の確かな成長を刻めるように、今後も努力をしてきたいと考えています。皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

編集委員　吉川　祐子
中島　義博
貝島　新